

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果の概要についてお知らせします

－ 川崎市の児童生徒の学習・生活の状況 －

令和7年4月17日に小学6年生、中学3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の川崎市の調査結果（速報版）をまとめました。中学校理科調査については、今回から生徒がGIGA端末を使用し、文部科学省CBTシステム（オンライン上で試験や学力調査が行えるシステム）により、4月14日から17日にかけて各学校が分散して実施しました。なお、本調査結果の詳細については、市教育委員会で分析した後、9月頃、川崎市総合教育センターのホームページに公表する予定です。

1 実施の状況

調査を実施した川崎市立学校は168校で、児童生徒合計20,349人が参加した。

内 訳：小学校 115 校 中学校 52 校 特別支援学校 1 校（小学部・中学部）

参加人数：小学校調査 11,387 人 中学校調査 8,962 人（調査の種類により調査人数は若干変動）

2 教科に関する結果の概要

（1）教科に関する調査の平均正答数（問）と平均正答率（％）

ア 小学校調査

教科等	国語（14問）		算数（16問）		理科（17問）	
	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）
川崎市	9.6	69.0	10.1	63.0	10.0	59.0
全国	9.4	66.8	9.3	58.0	9.7	57.1

イ 中学校調査

教科等	国語（14問）		数学（15問）		理科（26問）
	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均IRTスコア
川崎市	7.7	55.0	7.8	52.0	513
全国	7.6	54.3	7.2	48.3	503

※川崎市、全国の値は、公立学校の調査結果です。

※中学校理科はCBTで実施し、IRTスコア（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示しています。

（2）本市の傾向

いずれの教科も、全国の平均を上回っている。

（3）各教科調査結果の主な特徴

※【 】の値は全国の前年調査の平均正答率

比較的よい状況と考えられる主な設問（◇）、課題があると考えられる主な設問（◆）は次のとおりです。

- 小学校** ◇国語 ③ 二（1）「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる」
(84.9%)【81.6%】
- ◆国語 ③ 三（1）「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる」(45.9%)【40.8%】
- ◇算数 ④（1）「伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる」
(86.6%)【82.8%】
- ◆算数 ④（4）「「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる」(54.0%)【40.9%】
- ◇理科 ①（1）「赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができる」(81.7%)【79.5%】
- ◆理科 ③（4）「レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができる」(33.3%)【29.9%】

- 中学校 ◇国語 3 一 「表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる」(81.2%)【80.0%】
 ◆国語 4 二 「読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる」(33.0%)【30.1%】
 ◇数学 7 (1) 「必ず起こる事柄の確率について理解している」(80.5%)【77.4%】
 ◆数学 6 (2) 「式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる」(33.1%)【25.7%】
 ◇理科 1 (6) 「科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できる」(82.1%)【79.4%】
 ◆理科 1 (3) 「露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できる」(38.4%)【36.2%】

※【 】の値は全国値

3 児童生徒質問紙調査結果の概要

数値には「どちらかといえば」を含む

学習に対する興味や授業の理解度

- 国語の授業の内容はよく分かる。 小学校 85.2%【82.8%】 中学校 78.9%【77.0%】
 ○算数・数学の授業の内容はよく分かる。 小学校 79.0%【78.3%】 中学校 70.1%【70.3%】
 ○理科の授業の内容はよく分かる。 小学校 88.7%【88.9%】 中学校 71.9%【71.4%】

自己有用感等

- 自分には、よいところがあると思う。 小学校 88.4%【86.9%】 中学校 85.7%【86.2%】
 ○将来の夢や目標を持っている。 小学校 82.4%【83.1%】 中学校 67.4%【67.5%】

学習習慣等

- 学校の授業時間以外の勉強時間 ※「普段(月～金)1日当たりの時間」
 ・2時間以上 小学校 37.6%【24.9%】 中学校 43.6%【30.8%】
 ・30分より少ない 小学校 19.7%【18.6%】 中学校 15.7%【19.0%】

地域や社会に関わる活動の実施状況等

- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
 小学校 84.5%【81.3%】 中学校 73.6%【75.3%】

主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導改善に関する取組状況等

- 5年生(中学校1、2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。
 小学校 85.0%【80.3%】 中学校 83.5%【77.7%】
 ○5年生(中学校1、2年生)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。
 小学校 73.0%【68.6%】 中学校 75.5%【63.0%】
 ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
 小学校 87.1%【84.9%】 中学校 86.2%【84.7%】

基本的生活習慣等

- 朝食を毎日食べている。 小学校 93.5%【93.7%】 中学校 89.7%【91.2%】

I C Tを活用した学習状況

- 5年生(中学校1、2年生)までに受けた授業で、P C ・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか。
 (ほぼ毎日、1日に1回くらいの授業と1日に複数の授業で活用と回答した合計)
 ・ほぼ毎日 小学校 49.7%【46.7%】 中学校 62.4%【53.2%】
 ・週3回以上 小学校 77.3%【71.7%】 中学校 86.5%【76.5%】

【問合せ先】 川崎市教育委員会事務局総合教育センター
 カリキュラムセンター 鈴木・鶴木
 電話 044-844-3730